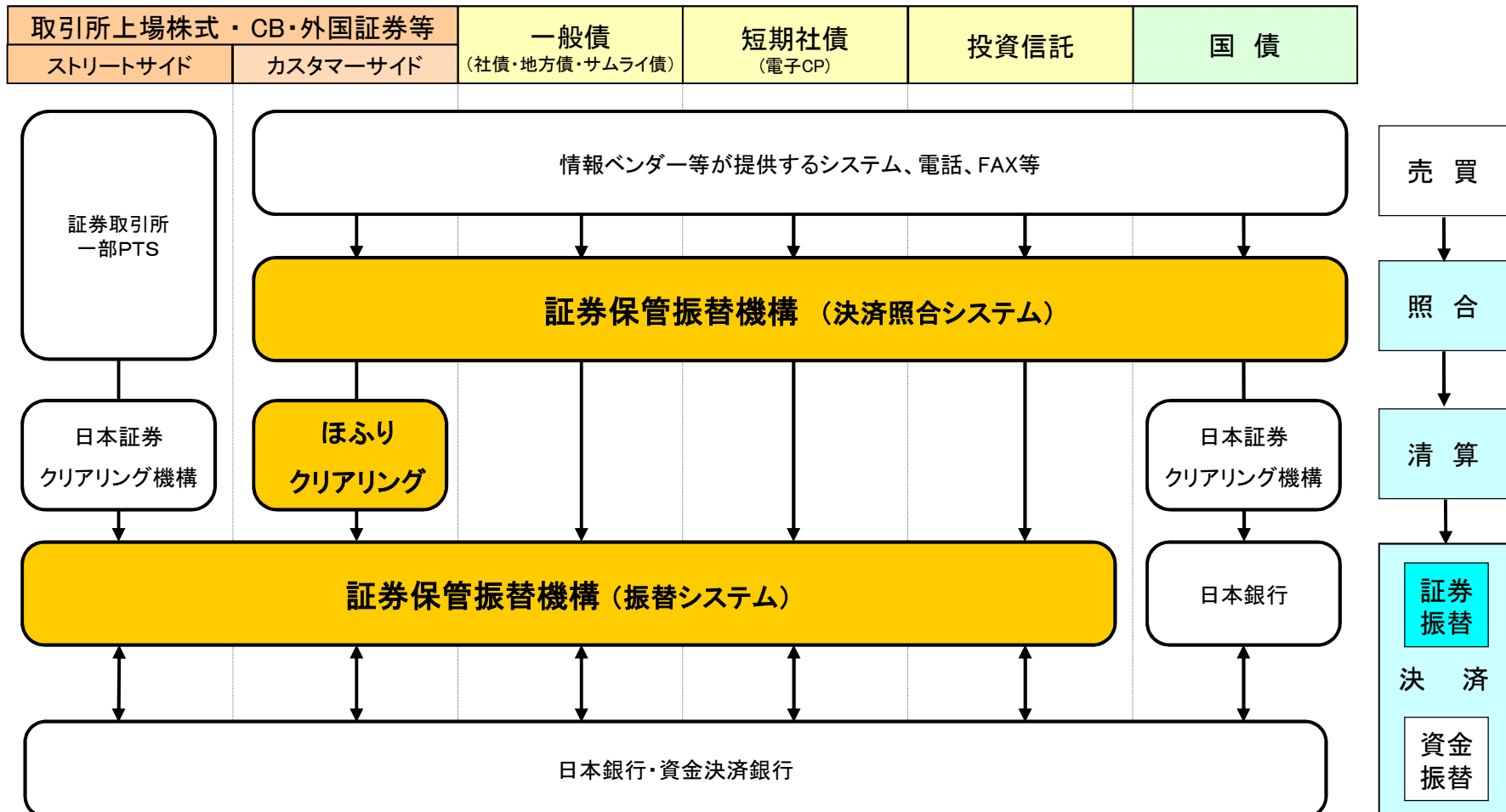


金融資本市場における証券保管振替機構の役割

株式、社債等の証券が取引所や相対で売買されると、証券及び資金の受渡(決済)が行われます。決済が迅速・安全に行われることは市場の発展、投資者のリスク削減の面できわめて重要です。とりわけ、証券の取引量が増大し、クロスボーダー取引が活発化する先進国では、証券決済システムは金融資本市場の重要なインフラとなっています。

＜証券決済が完了するまでの流れと証券保管振替機構の役割＞



(注1) 投資信託の照合は、決済照合システムではなく振替システムで行っています。

(注2) ほふりクリアリング、日本証券クリアリング機構を利用しない取引もあります。

証券取引においては、「売買」(注文・約定)が行われた後、約定や決済に関する内容を関係者間で確認する「照合」、決済日に引き渡す証券と資金の金額等を決済当事者毎等に集約する「清算」といったプロセスを経て、最終的に証券及び資金の「決済」が行われます。

証券保管振替機構は、これら一連のプロセスのうち、証券決済機関(CSD)として、「照合」、「清算」、「決済」に係るサービスを提供しています。

